



Electronics for the Future

# 決算発表 補足資料

## 2023年度 第3四半期業績

2024年2月1日  
ローム株式会社  
広報IR部 IR室

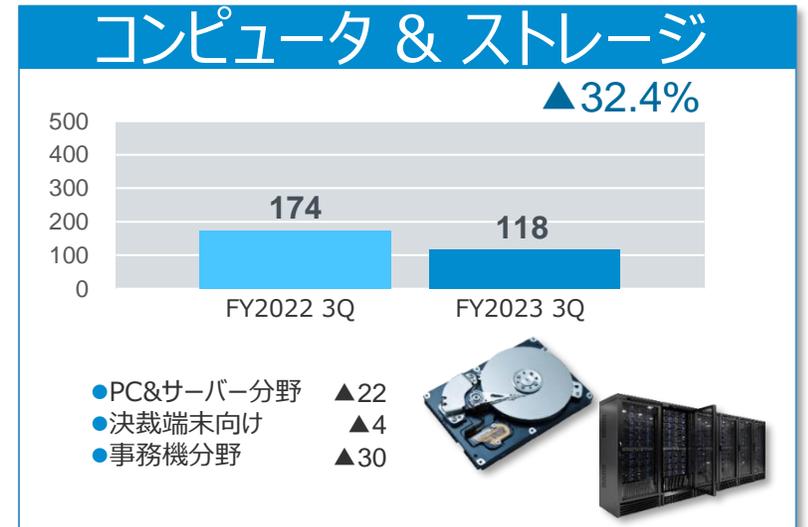
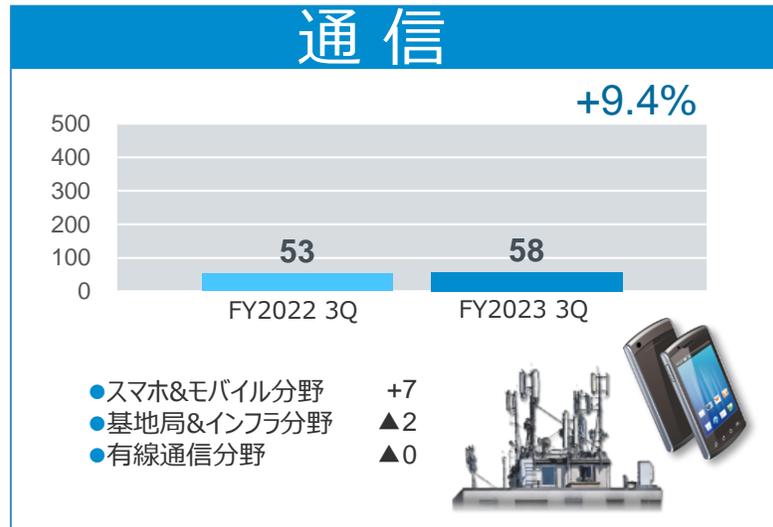
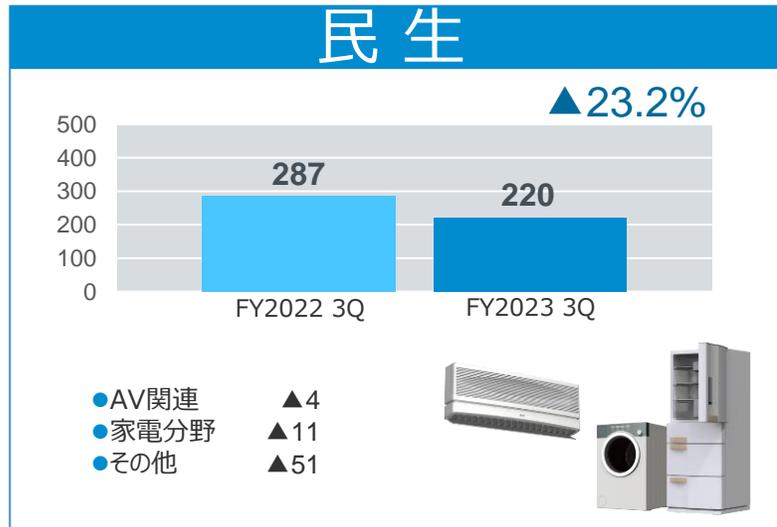
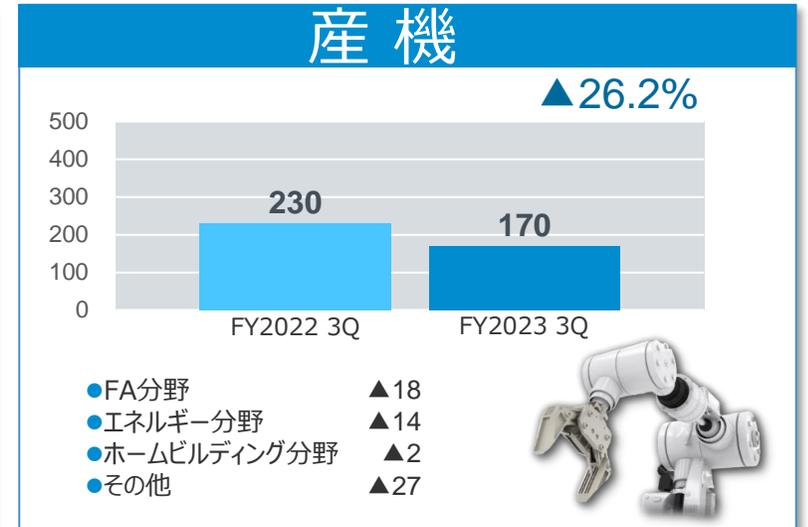
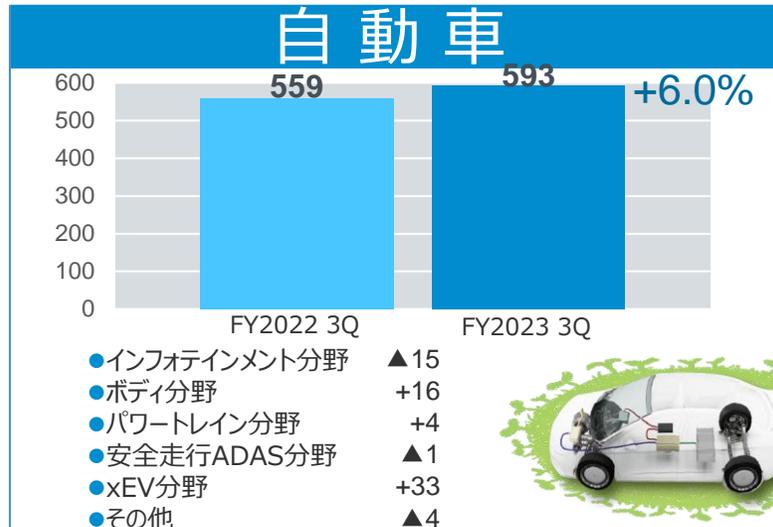
# 2023年度 第3四半期 実績 業績報告 (前年同期比)

(単位：億円)

	FY2023 第3四半期 実績	FY2022 第3四半期 実績	増減額	増減率
売上高	<b>1,158</b>	<b>1,302</b>	<b>▲144</b>	<b>▲11.1%</b>
営業利益	<b>108</b>	<b>250</b>	<b>▲142</b>	<b>▲56.8%</b>
(対売上比率)	<b>( 9.3%)</b>	<b>( 19.2%)</b>	-	-
経常利益	<b>100</b>	<b>196</b>	<b>▲96</b>	<b>▲48.9%</b>
(対売上比率)	<b>( 8.7%)</b>	<b>( 15.1%)</b>	-	-
純利益	<b>77</b>	<b>158</b>	<b>▲81</b>	<b>▲50.7%</b>
(対売上比率)	<b>( 6.7%)</b>	<b>( 12.1%)</b>	-	-
EBITDA	<b>302</b>	<b>400</b>	<b>▲98</b>	<b>▲24.6%</b>
(対売上比率)	<b>( 26.1%)</b>	<b>( 30.7%)</b>	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (147.00円) (141.16円)  
 期末レート(¥/US\$) (141.83円) (132.70円)

(単位：億円)



※業種分類：現在の状態で集計

# 2023年度 第3四半期 国籍別 売上の変動要因 (前年同期比)

四半期売上高

1,302億円

1,158億円

FY2022 第3四半期実績

FY2023 第3四半期実績

▲11.1%

海外売上高比率

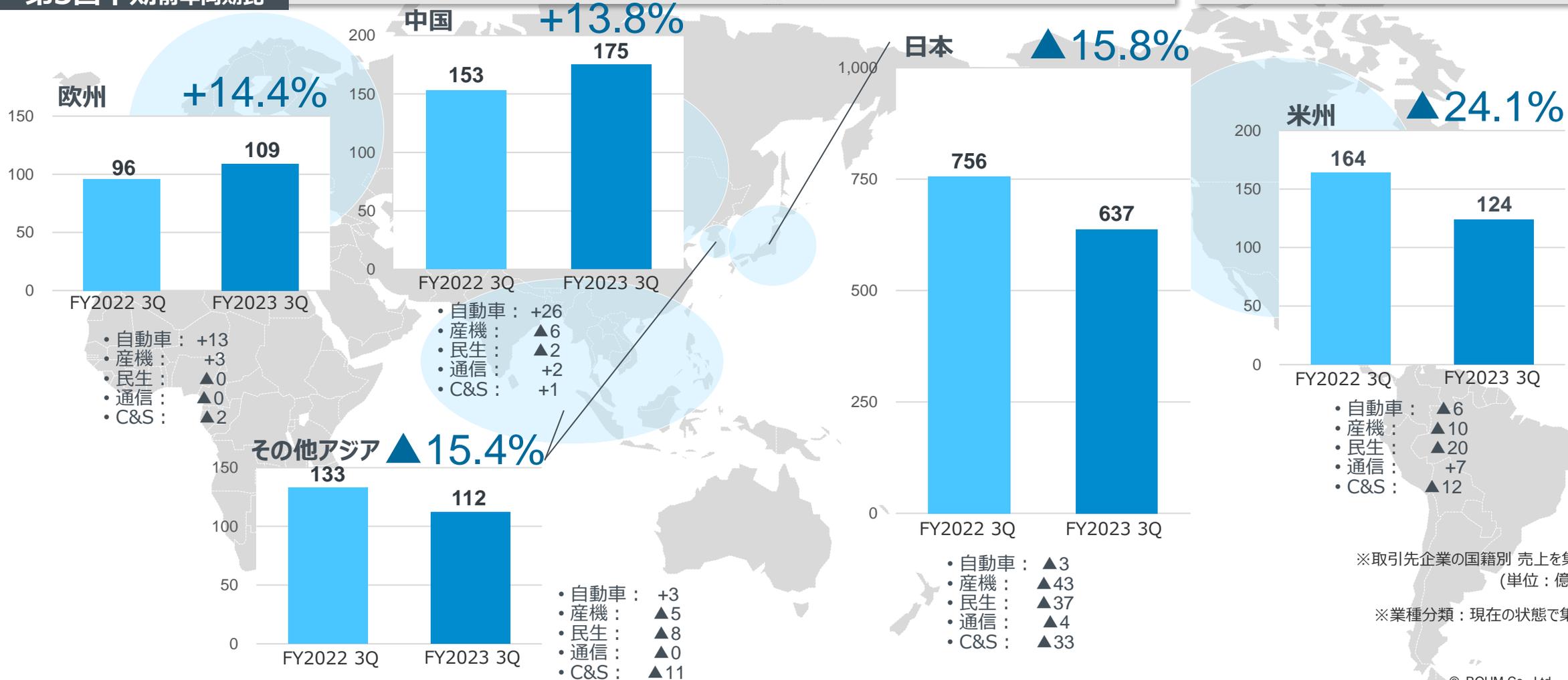
41.9%

FY2022 3Q

45.0%

FY2023 3Q

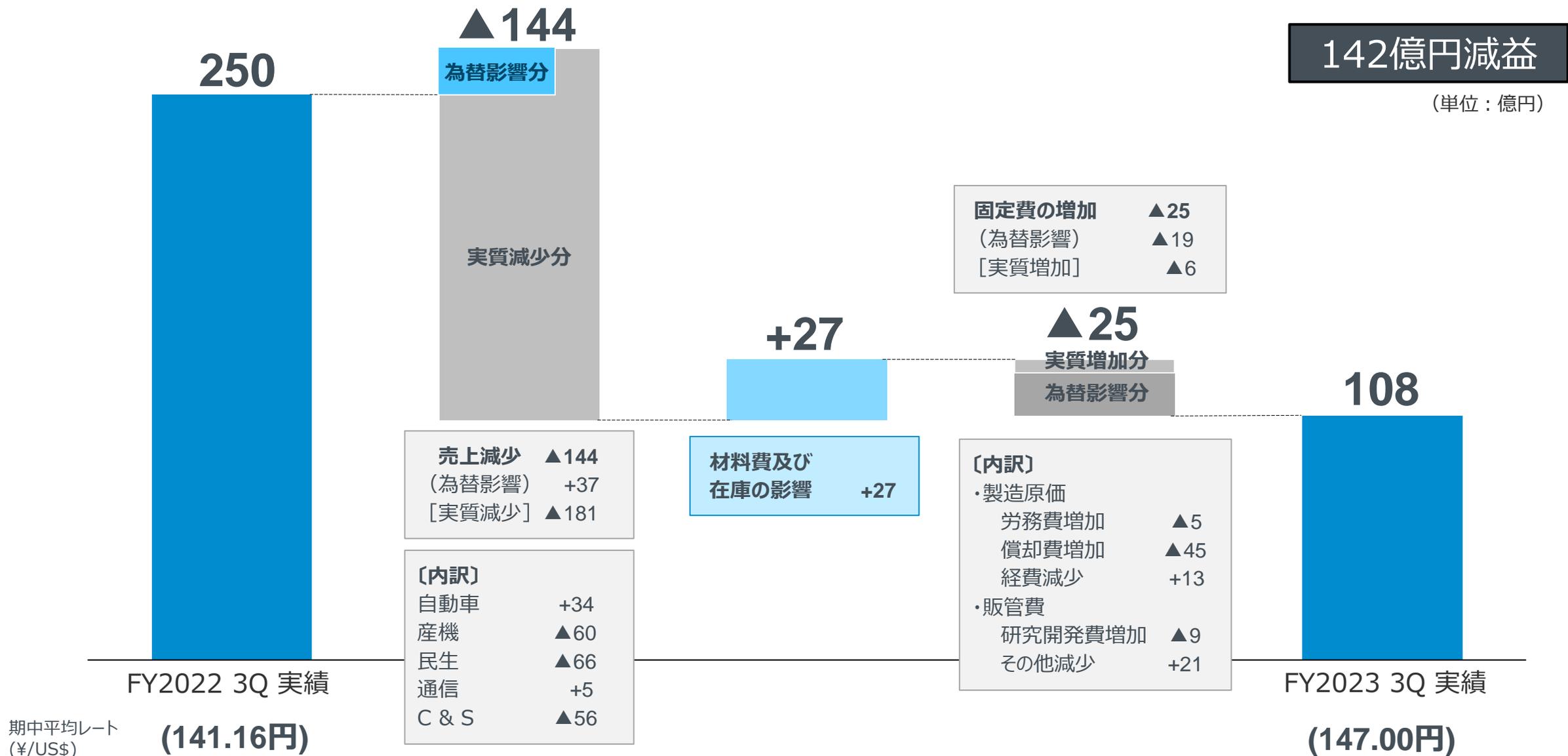
第3四半期前年同期比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

# 2023年度 第3四半期 営業利益 増減分析 (前年同期比)



# 2023年度 第3四半期 セグメント別 (前年同期比)

(単位：億円)

		FY2023 第3四半期 実績	FY2022 第3四半期 実績	増減額	増減率
LSI	売上	511	615	▲104	▲16.9%
	セグメント利益	56	143	▲87	▲60.7%
	(利益率)	( 11.0%)	( 23.3%)	-	-
半導体素子	売上	495	538	▲43	▲8.0%
	セグメント利益	15	92	▲77	▲83.4%
	(利益率)	( 3.1%)	( 17.2%)	-	-
モジュール	売上	86	83	+3	+3.9%
	セグメント利益	1	11	▲10	▲86.4%
	(利益率)	( 1.8%)	( 14.0%)	-	-
その他	売上	63	64	▲1	▲1.4%
	セグメント利益	4	10	▲6	▲59.7%
	(利益率)	( 6.8%)	( 16.6%)	-	-

# 2023年度 第3四半期 実績 業績報告 (直前四半期比)

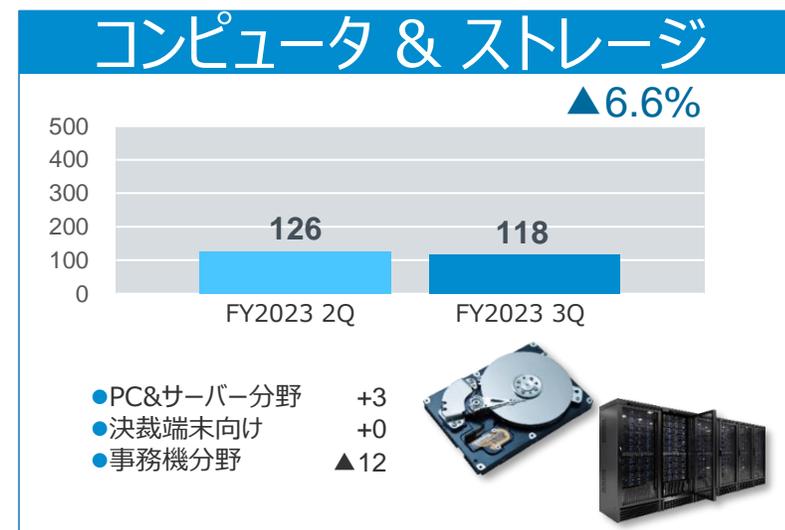
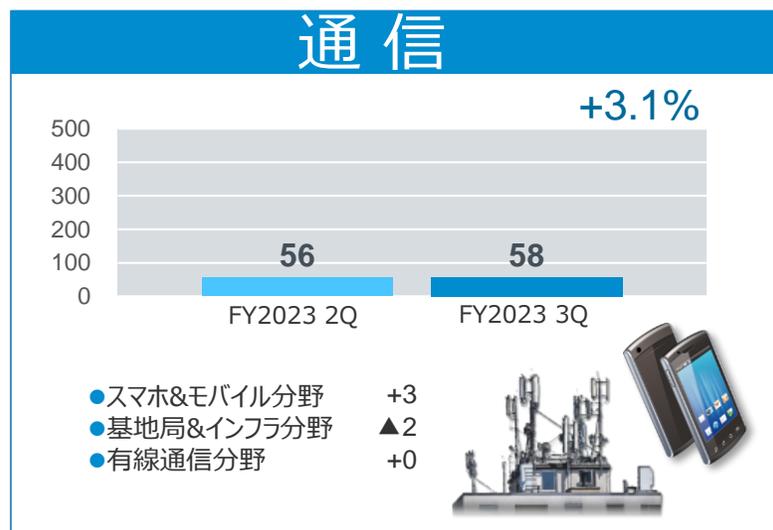
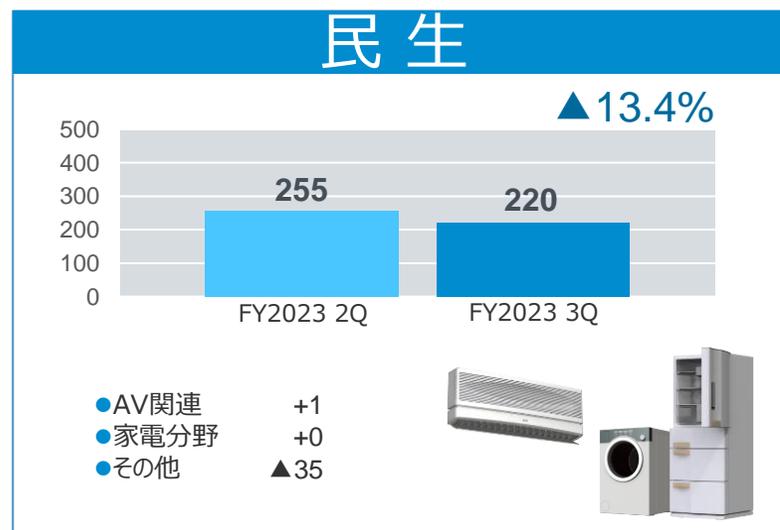
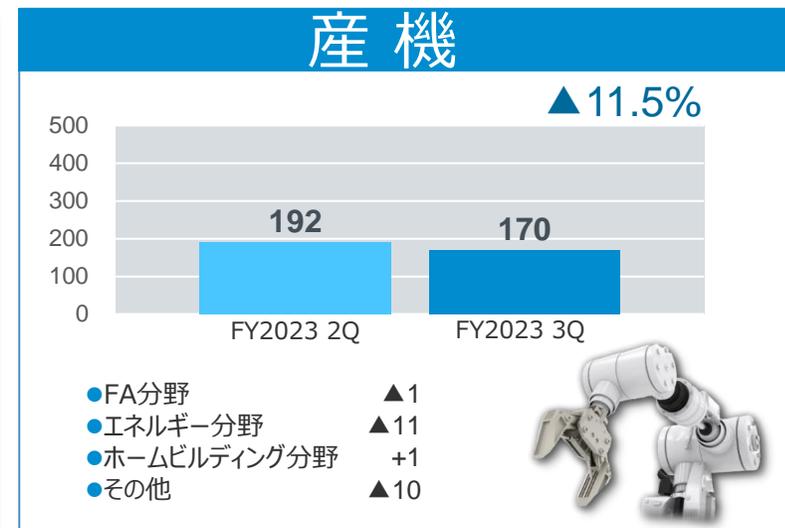
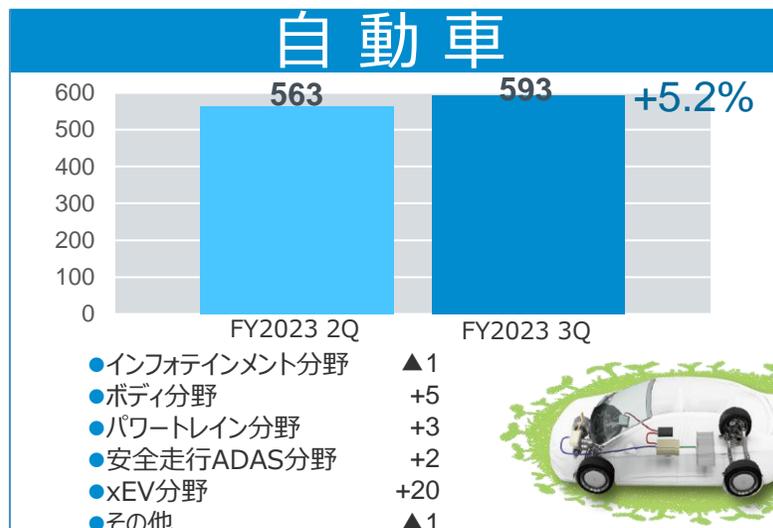
(単位：億円)

	FY2023 第3四半期 実績	FY2023 第2四半期 実績	増減額	増減率
売上高	<b>1,158</b>	<b>1,191</b>	<b>▲34</b>	<b>▲2.8%</b>
営業利益	<b>108</b>	<b>121</b>	<b>▲13</b>	<b>▲10.9%</b>
(対売上比率)	<b>( 9.3%)</b>	<b>( 10.2%)</b>	-	-
経常利益	<b>100</b>	<b>220</b>	<b>▲120</b>	<b>▲54.6%</b>
(対売上比率)	<b>( 8.7%)</b>	<b>( 18.5%)</b>	-	-
純利益	<b>77</b>	<b>171</b>	<b>▲94</b>	<b>▲54.6%</b>
(対売上比率)	<b>( 6.7%)</b>	<b>( 14.4%)</b>	-	-
EBITDA	<b>302</b>	<b>286</b>	<b>+16</b>	<b>+5.5%</b>
(対売上比率)	<b>( 26.1%)</b>	<b>( 24.0%)</b>	-	-

期中平均レート(¥/US\$) (147.00円) (145.44円)

期末レート(¥/US\$) (141.83円) (149.58円)

(単位：億円)



※業種分類：現在の状態で集計

# 2023年度 第3四半期 国籍別 売上の変動要因 (直前四半期比)

四半期売上高

1,191億円

1,158億円

FY2023 第2四半期実績

FY2023 第3四半期実績

▲2.8%

海外売上高比率

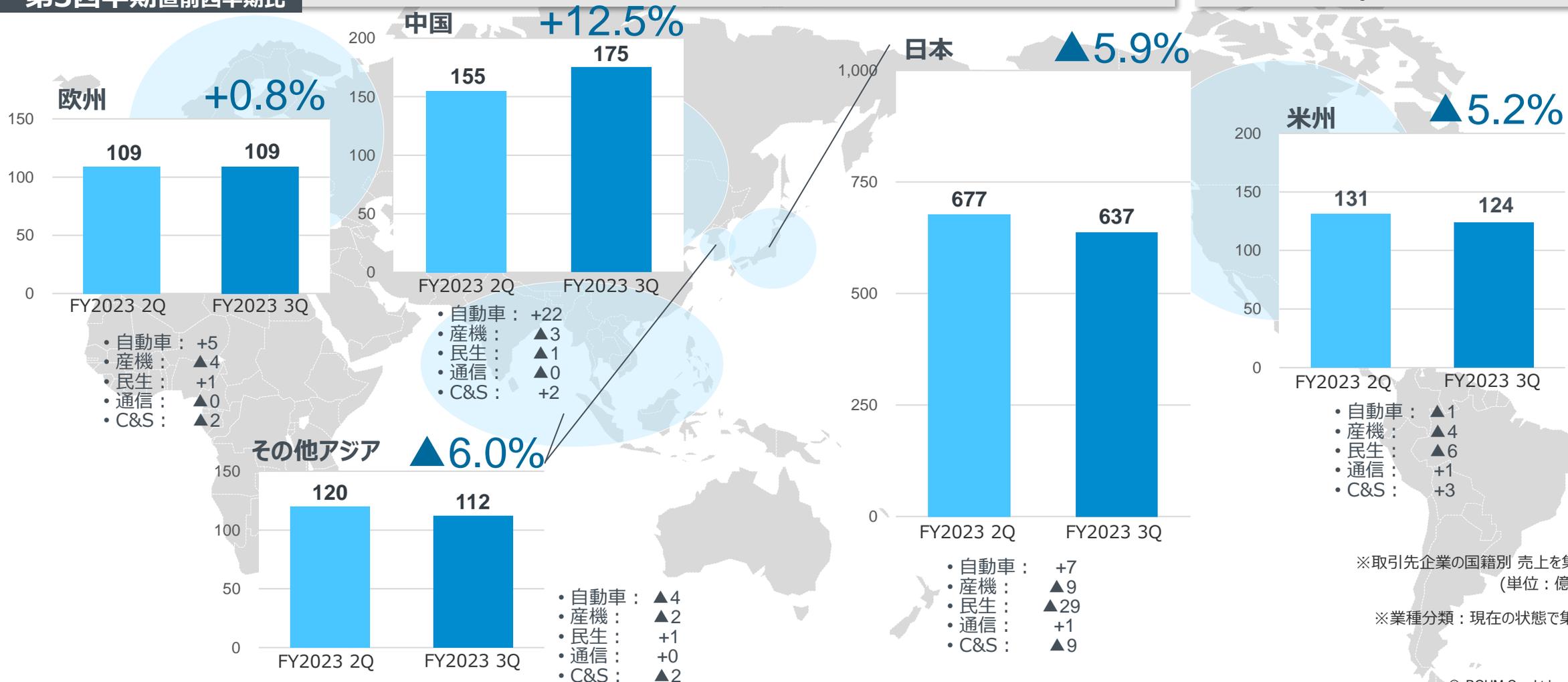
43.2%

FY2023 2Q

45.0%

FY2023 3Q

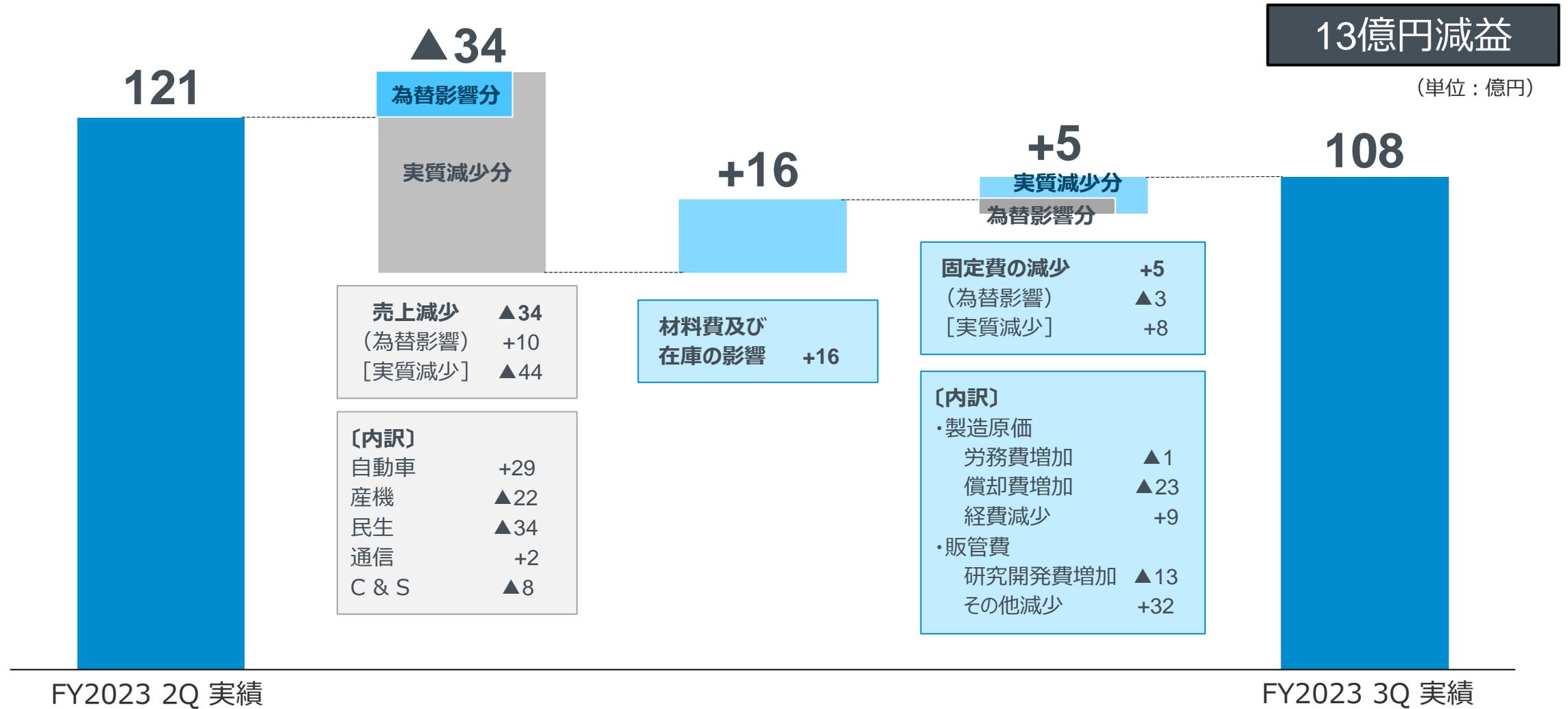
第3四半期直前四半期比



※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

# 2023年度 第3四半期 営業利益 増減分析 (直前四半期比)



期中平均レート  
(¥/US\$)

**(145.44円)**

**(147.00円)**

# 2023年度 第3四半期 セグメント別 (直前四半期比)

(単位：億円)

		FY2023 第3四半期 実績	FY2023 第2四半期 実績	増減額	増減率
LSI	売上	511	532	▲21	▲3.8%
	セグメント利益	56	44	+12	+26.2%
	(利益率)	( 11.0%)	( 8.4%)	-	-
半導体素子	売上	495	504	▲9	▲1.7%
	セグメント利益	15	52	▲37	▲70.6%
	(利益率)	( 3.1%)	( 10.4%)	-	-
モジュール	売上	86	88	▲2	▲2.1%
	セグメント利益	1	14	▲13	▲89.2%
	(利益率)	( 1.8%)	( 16.7%)	-	-
その他	売上	63	66	▲3	▲3.6%
	セグメント利益	4	6	▲2	▲36.8%
	(利益率)	( 6.8%)	( 10.4%)	-	-

# 2023年度 通期 業績予想（11月修正計画比、前期比）

※今回 発表値

（単位：億円）

	FY2023 再修正計画	FY2023 11月修正計画	修正計画比	FY2022 実績	前期比
売上高	<b>4,700</b>	5,000	▲6.0%	5,078	▲7.5%
営業利益	<b>440</b>	530	▲17.0%	923	▲52.3%
（対売上比率）	<b>( 9.4%)</b>	( 10.6%)	-	( 18.2%)	-
経常利益	<b>640</b>	700	▲8.6%	1,095	▲41.6%
（対売上比率）	<b>( 13.6%)</b>	( 14.0%)	-	( 21.6%)	-
純利益	<b>480</b>	590	▲18.6%	803	▲40.3%
（対売上比率）	<b>( 10.2%)</b>	( 11.8%)	-	( 15.8%)	-
EBITDA	<b>1,174</b>	1,314	▲10.7%	1,484	▲20.9%
（対売上比率）	<b>( 25.0%)</b>	( 26.3%)	-	( 29.2%)	-

期中平均レート(¥/US\$)

(142.12円)

(140.71円)

(134.95円)

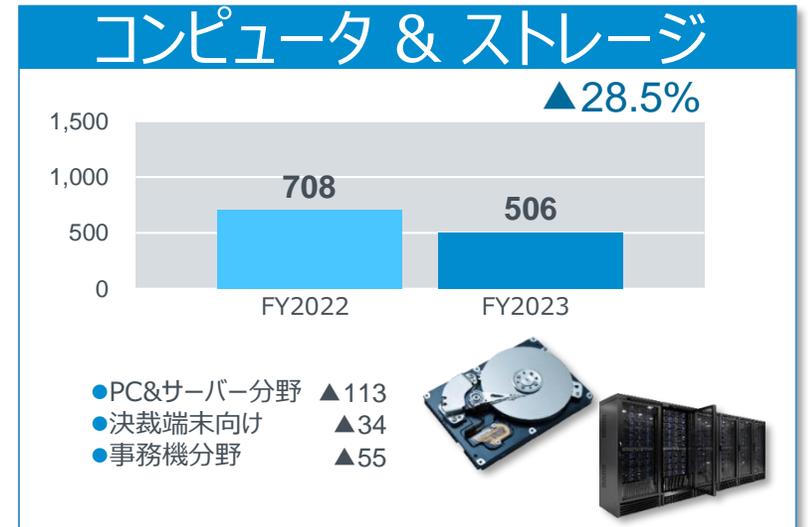
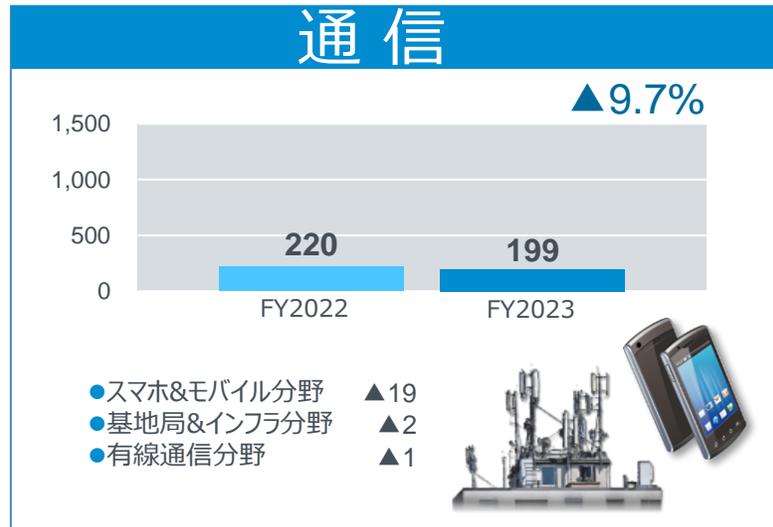
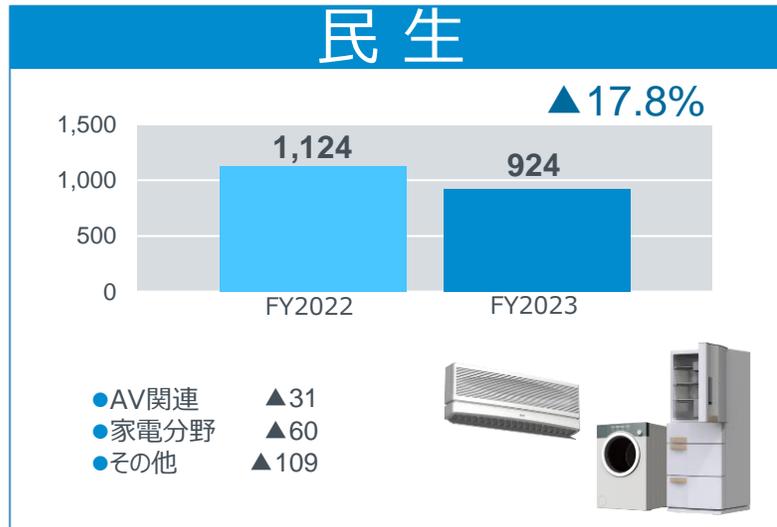
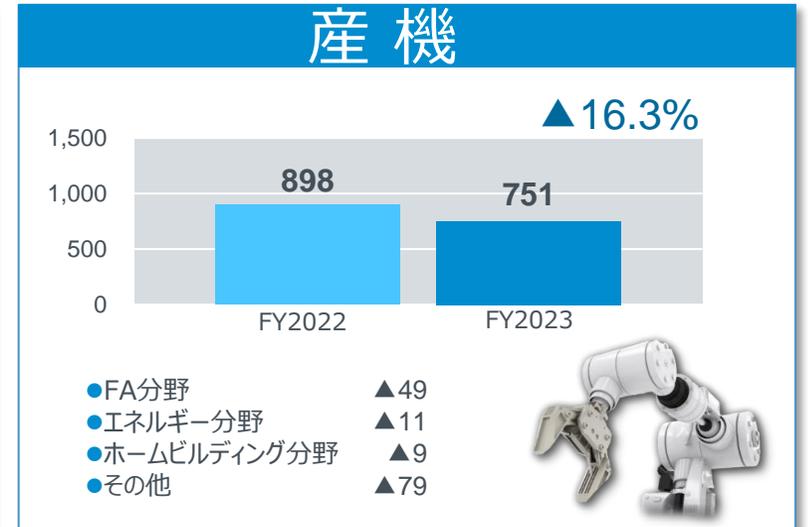
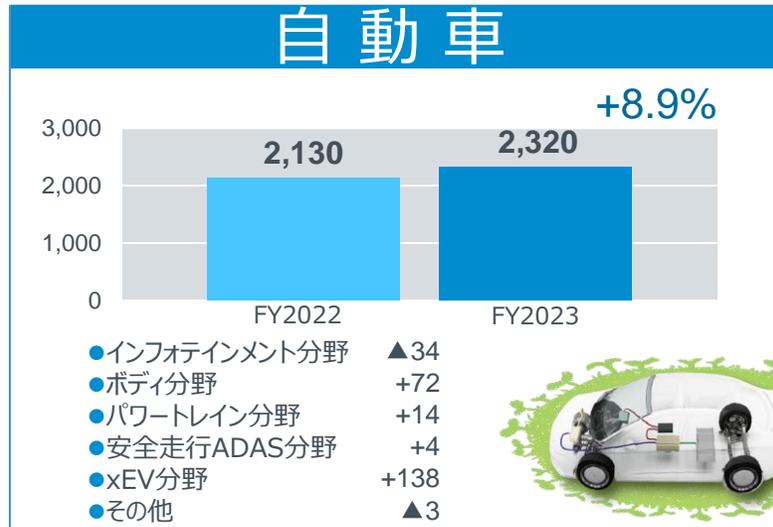
期末レート(¥/US\$)

(140.00円)

(140.00円)

(133.53円)

(単位：億円)



※業種分類：現在の状態で集計

# 2023年度 通期計画 国籍別 売上の変動要因 (前年比)

通期売上高

5,078億円

4,700億円

FY2022 通期実績

FY2023 通期修正計画

▲7.5%

海外売上高比率

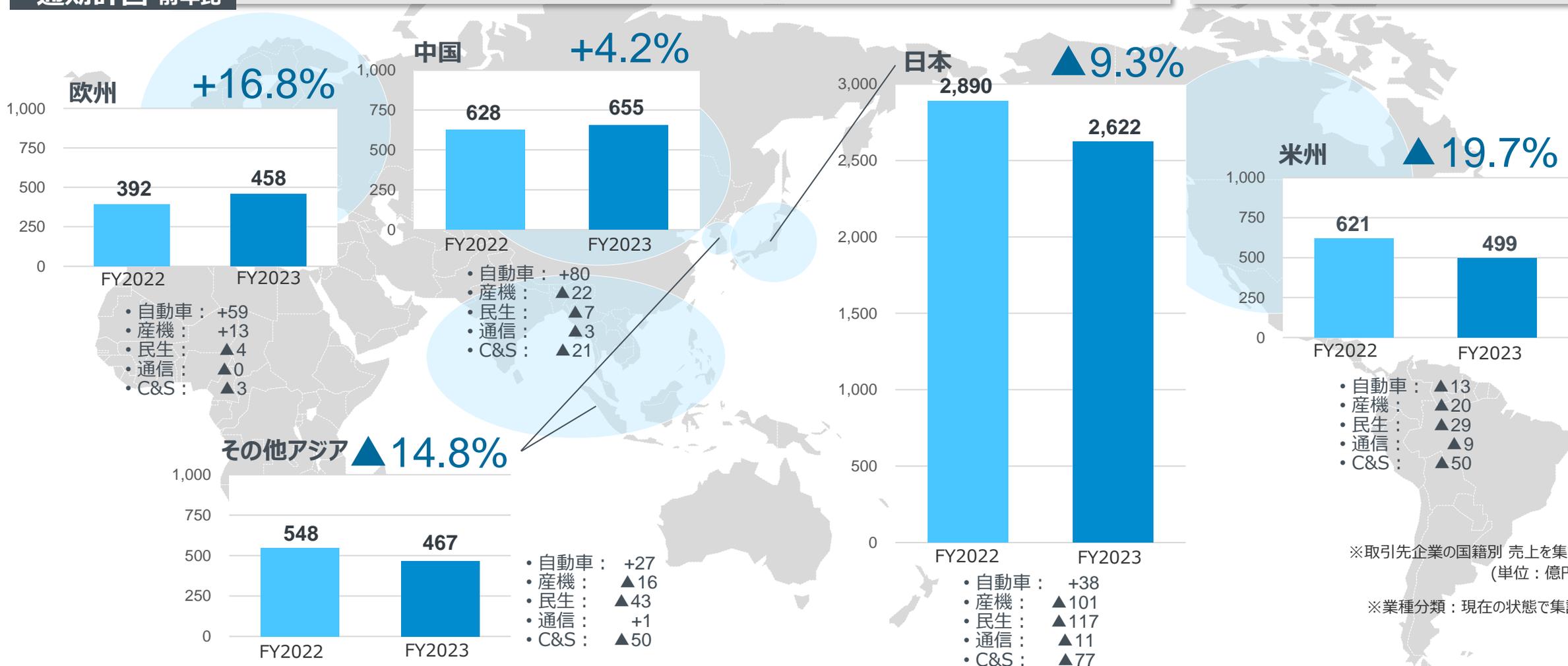
43.1%

FY2022 通期

44.2%

FY2023 通期

通期計画 前年比



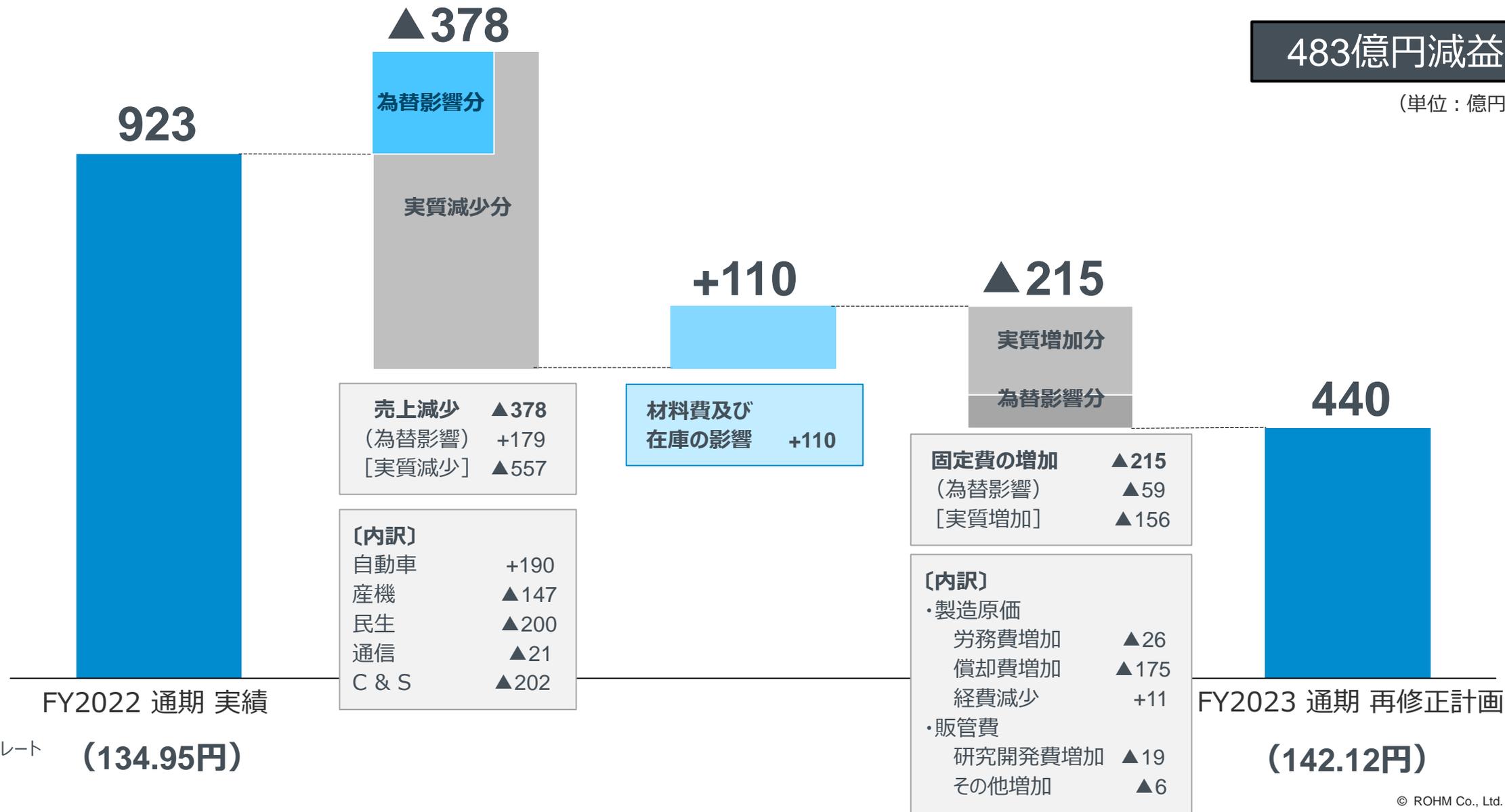
※取引先企業の国籍別 売上を集計 (単位: 億円)

※業種分類: 現在の状態で集計

# 2023年度 通期計画 営業利益 増減分析 (前年比)

**483億円減益**

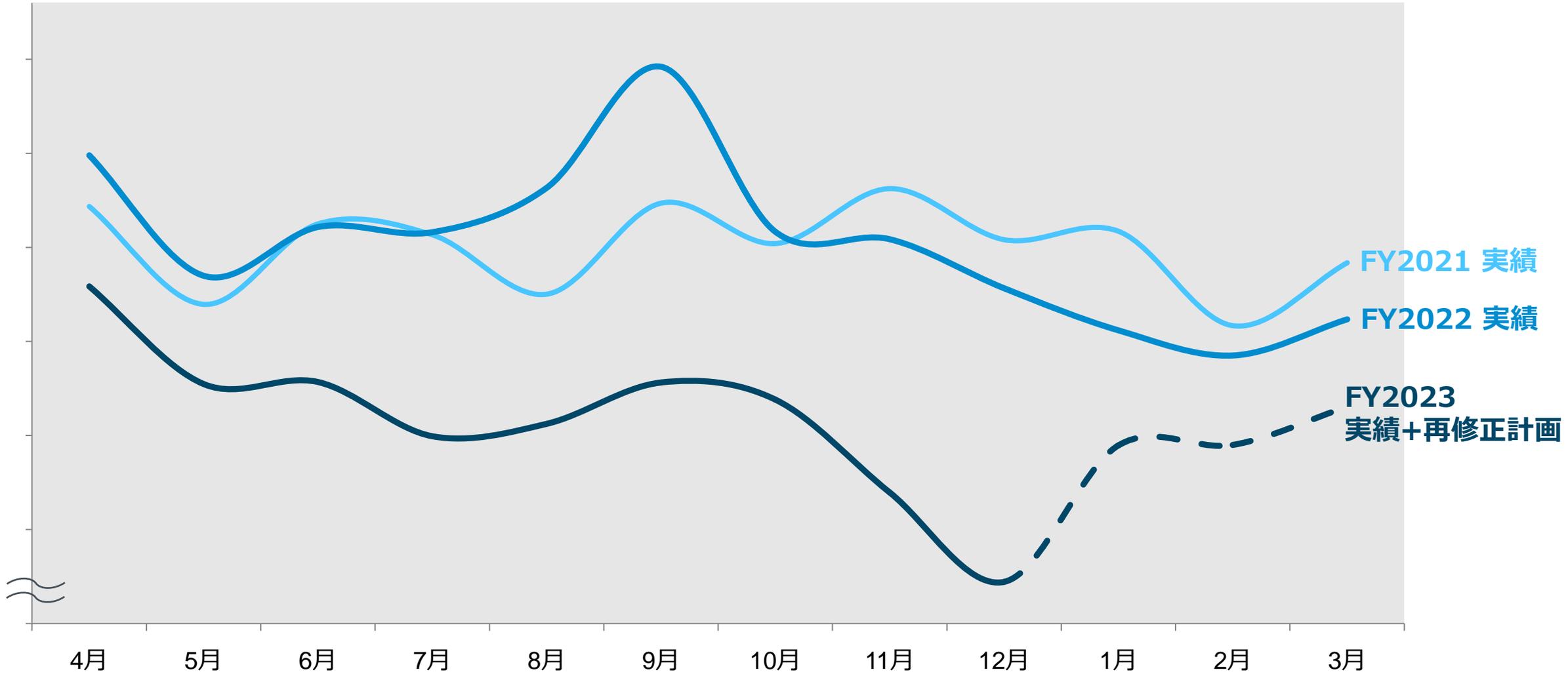
(単位：億円)



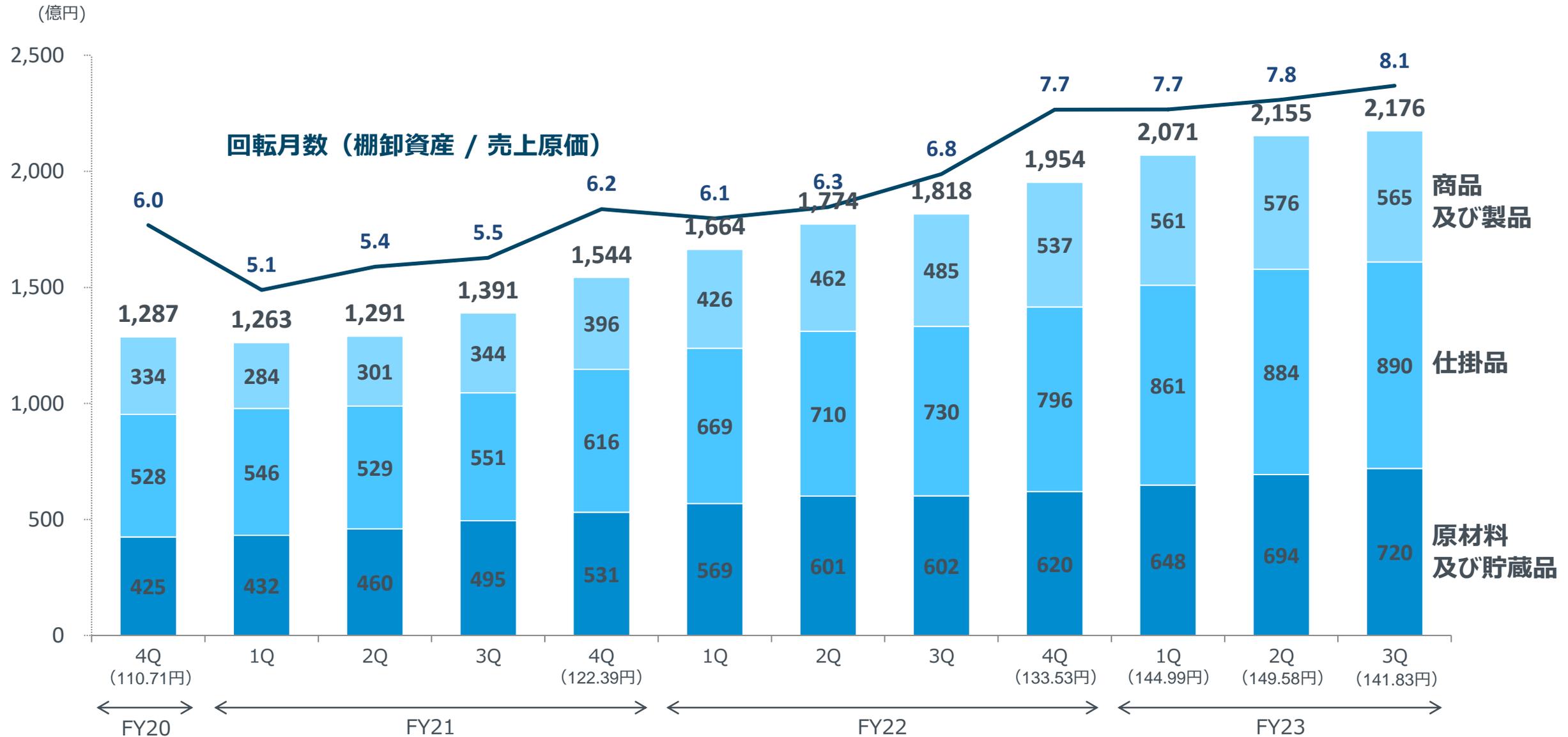
期中平均レート (¥/US\$) **(134.95円)**

**(142.12円)**

※為替は1USD = 105円で換算



# 在庫の状況 (金額)



Question	Answer
稼働率の状況は？	パワー・アナログ半導体における主力製品についてはまだ高い稼働率を維持しているものの、足元の需要の弱さや在庫調整の影響により、全体としては低下傾向にあります。
今後の在庫レベルは？	汎用品など一部過剰在庫については、適正在庫に向けて圧縮を進めております。しかし、パワーやアナログ等の注力製品については在庫の充足を進めております。 今後は、売上数量を増加させることで回転月数を下げていきたいと考えております。
3QのSiC事業の状況は？	中国や欧州向けの売上が拡大しており、順調に推移しております。当初に立てた年間の売上目標についても変更はありません。
為替感応度は？	ドルに対して円安に動くと、業績にはプラスに働きます。 1円動くと、年間ベースで売上高25億円、営業利益7億円変動します。
今回の通期予想の下方修正について、何が想定と違ったのか？	自動車市場においては、自動車生産台数の回復や電動化・電装化の促進により継続的に成長を続けておりますが、市場における在庫調整が諸所で見られ、想定を下回る見通しとなりました。産業機器市場及びコンピュータ&ストレージ市場においても在庫調整と需要低迷が想定よりも長引いております。
半導体の市況はいつ回復に向かうと見ているのか？	今期においては、各市場における調整局面により停滞が続いておりますが、来期においては、市場は調整局面から脱却し、電動化のニーズから注力市場である自動車・産業機器市場を中心に再び成長軌道に乗って行けると考えております。
(株)東芝との協業について	2023年12月に東芝の非公開化が完了しており、今後の協業に関して協議を進めてまいります。何らかの決定事項が発生した場合は速やかに開示を行います。 東芝の半導体事業とは、製品ポートフォリオや戦略などの面で様々なシナジーを創出できると認識しております。
経産省からのパワー半導体に関する補助金について	2023年12月に、ロームと東芝デバイス & ストレージが共同で進める「パワー半導体の供給確保計画」が経済産業省より認定されました。これにより、ロームグループにおいてはラピスセミコンダクタ宮崎第二工場へのSiCパワー半導体に関する設備投資2,892億円に対して、最大で964億円の補助金を受け取ることとなります。 なお、補助金の会計処理としては、圧縮記帳を行うことで減価償却費を削減する方向で検討しております。

- [2023-11-07 ソーラーフロンティア 旧国富工場の取得完了 ラピスセミコンダクタ 宮崎第二工場として稼働予定](#)
- [2023-11-09 業界初※、xEV車向けAVAS（車両接近通報装置）専用の音声合成LSIを開発](#)
- [2023-11-30 照明電源やポンプ、モーターなどの小型化・低背化に貢献！小型SOT-223-3パッケージの600V耐圧 Super Junction MOSFETを開発](#)
- [2023-12-08 ロームと東芝デバイス&ストレージが共同で進める「パワー半導体の供給確保計画」が経済産業省より認定\(PDF:592KB\)](#)
- [2023-12-19 温度変化に左右されずセンサ信号を高精度に増幅！ゼロドリフトオペアンプ「LMR1002F-LB」を開発](#)
- [2023-12-21 トレンチMOS構造の採用により、背反する \$V\_E\$ と \$I\_R\$ を従来品から大幅改善 100V耐圧で業界最高クラス※のtrrを実現したSBD「YQシリーズ」を開発](#)
- [2023-12-27 リチウムイオン電池1本でも高速・明瞭に印字できるサーマルプリントヘッドを開発](#)



Electronics for the Future